

平成26年度
網走市における景気動向調査
＜第I四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章	調査要領	1
1-1	調査時点及び調査対象期間	
1-2	調査対象	
1-3	調査方法	
1-4	回収状況	
第2章	概況	
2-1	全体の動き	2
2-2	業種別の動き	3
第3章	各判断項目回答割合	
3-1	業況	6
3-2	完成工事高・生産高・売上高	7
3-3	在庫水準	8
3-4	採算	8
3-5	資金繰り	9
第4章	景況天気図	
4-1	記号説明	10
4-2	全業種 D.I.値の状況	10
4-3	業種別 D.I.値の状況	11
第5章	産業別経営上の問題点	13
第6章	産業別設備投資の状況	14
第7章	業界の景気動向等その他ご意見	15

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：平成26年7月2日（水）～平成26年7月22日（火）
- (2) 調査期間：平成26年4月～6月期実績、及び、平成26年7月～9月期見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（25件）、製造業（23件）、卸売業（21件）、小売業（33件）、サービス業（33件）の5業種135社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX、若しくは、返信用封筒による郵送で回答を受ける。

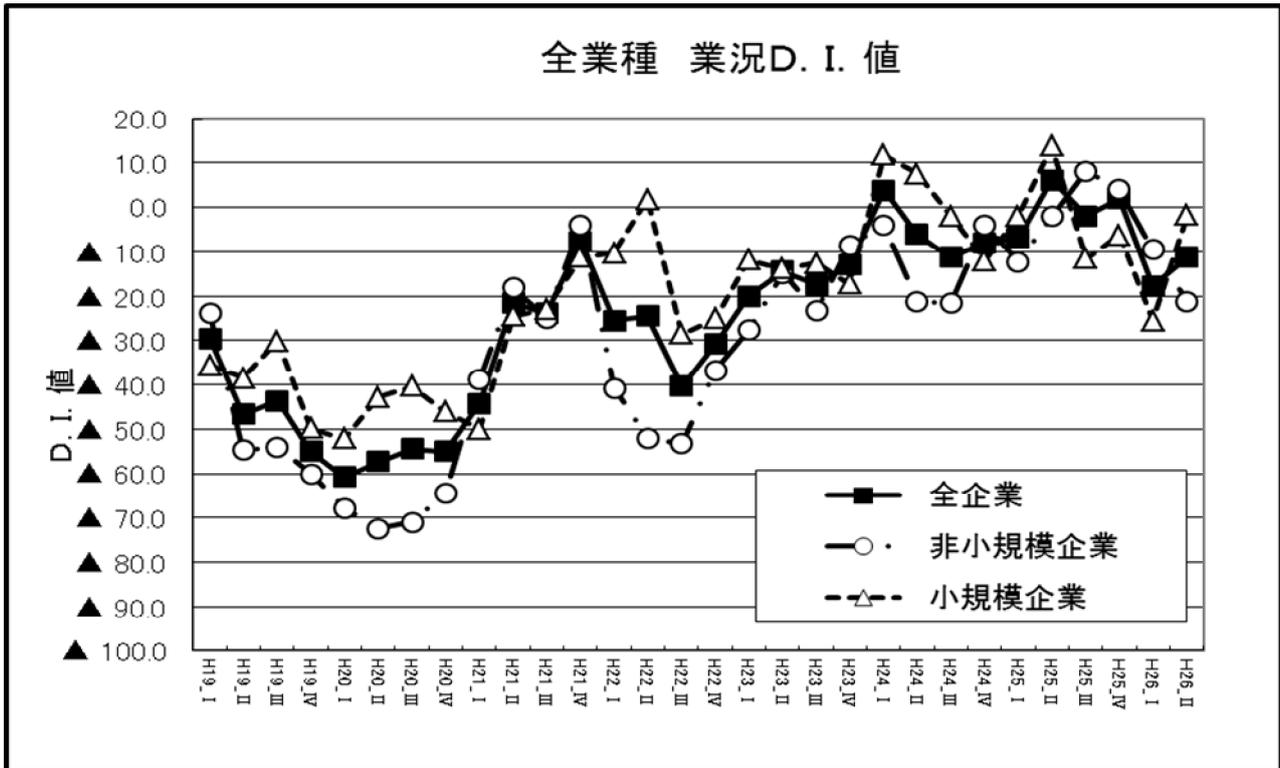
1-4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業		25件	21件 (非小規模企業:10件) (小規模企業:11件)	84.0%
製造業		23件	15件 (非小規模企業:5件) (小規模企業:10件)	65.2%
卸売業		21件	19件 (非小規模企業:10件) (小規模企業:9件)	90.5%
小売業		33件	27件 (非小規模企業:12件) (小規模企業:15件)	81.8%
サービス業		33件	25件 (非小規模企業:15件) (小規模企業:10件)	75.8%
合計		135件	107件	79.3%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下（卸売業・小売業・サービス業は5人以下）を示す。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



注) D.I.値とは、ディフュージョン・インデックスの略で景気動向指数を示すものであり、好転の割合から悪化の割合を引いた値である。

平成 26 年度第 I 四半期<4 月～6 月>の業況は、4 月の消費税率 8%への引き上げに伴う反動減などの影響で、前年同期比で「好転企業」16.8%、「悪化企業」34.6%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I.値は▲17.8 と同 10.9 ポイント悪化し、平成 25 年第 III 四半期以来のマイナスに転落しました。非小規模企業の D.I 値は▲10.0、小規模企業は▲20.0 といずれもマイナスとなりました。

今期は全 5 業種中 3 業種で前年同期より悪化し、特に建設業は下げ幅が最も大きく同 42.9 ポイント下落の▲9.6、卸売業は同 5.2 ポイント下落の▲31.5、小売業は同 16.2 ポイント下落の▲37.0 となりました。一方サービス業は同 4.0 ポイント上昇の▲0.0、製造業は同 4.4 ポイント上昇し▲13.3 となったものの、サービス業を除く 4 業種全てでマイナス水準に陥りました。

次期(7 月～9 月)の業況判断 D I は今期より 6.6 ポイント改善の▲11.7 の見通しを示したものの、全体として厳しい状況に大きな変化はないとの見通しを立てています。

前期、プラスだったサービス業が 8.0 ポイント減の▲4.0 を予想。一方で製造業は同 26.7 ポイント上昇し 13.4、また、卸売業は同 31.5 ポイント上昇し 0、建設業においても同 4.8 ポイント上昇し▲4.8 となるなど一部業種で改善傾向がみられるものの、小売業は逆に同 3.7 ポイント下落し▲40.7 を見込み、消費税増税後、このことが企業経営にどのような影響を与えるのかは依然不透明で予断を許さない状況です。

経営上の問題点としては「諸経費増」「人材不足」「得意先の減少」が上位を占めました。建設業では引き続き「人材不足」を挙げており、製造業、サービス業においては「諸経費増」が課題と位置づける企業が多くを占めた他、卸売業、小売業では「得意先の減少」が上位を占めました。

2-2. 業種別の動き

(1) 建設業

■完成工事高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	18.2%	45.5%	▲ 27.3	↓
非小規模企業	10.0%	30.0%	▲ 20.0	↓
全体	14.3%	38.1%	▲ 23.8	↓

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	9.1%	18.2%	▲ 9.1	↓
非小規模企業	10.0%	30.0%	▲ 20.0	↓
全体	9.5%	23.8%	▲ 14.3	↓

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	18.2%	9.1%	9.1	↗
	非小規模企業	0.0%	20.0%	▲ 20.0	↓
	全体	9.5%	14.3%	▲ 4.8	↓
完成工事高	小規模企業	9.1%	9.1%	0.0	→
	非小規模企業	11.1%	22.2%	▲ 11.1	↓
	全体	10.0%	15.0%	▲ 5.0	↓
資金繰り	小規模企業	0.0%	0.0%	0.0	→
	非小規模企業	0.0%	10.0%	▲ 10.0	↓
	全体	0.0%	4.8%	▲ 4.8	↓

(2) 製造業

■生 産 高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	10.0%	50.0%	▲ 40.0	↓
非小規模企業	20.0%	40.0%	▲ 20.0	↓
全体	13.3%	46.7%	▲ 33.4	↓

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	10.0%	60.0%	▲ 50.0	↓
非小規模企業	40.0%	20.0%	20.0	↗
全体	20.0%	46.7%	▲ 26.7	↓

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	40.0%	10.0%	30.0	↗
	非小規模企業	0.0%	20.0%	▲ 20.0	↓
	全体	26.7%	13.3%	13.4	↗
生産高	小規模企業	40.0%	10.0%	30.0	↗
	非小規模企業	0.0%	20.0%	▲ 20.0	↓
	全体	26.7%	13.3%	13.4	↗
資金繰り	小規模企業	20.0%	20.0%	0.0	→
	非小規模企業	0.0%	20.0%	▲ 20.0	↓
	全体	13.3%	20.0%	▲ 6.7	↓

(3) 卸売業

■売上高

規模	増加	減少	D.I.値	
小規模企業	11.1%	22.2%	▲ 11.1	↓
非小規模企業	10.0%	50.0%	▲ 40.0	↓
全体	10.5%	36.8%	▲ 26.3	↓

■採算

規模	増加	減少	D.I.値	
小規模企業	11.1%	22.2%	▲ 11.1	↓
非小規模企業	0.0%	50.0%	▲ 50.0	↓
全体	5.3%	36.8%	▲ 31.5	↓

■次期の見通し

判断項目	規模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	33.3%	11.1%	22.2	↗
	非小規模企業	20.0%	40.0%	▲ 20.0	↓
	全体	26.3%	26.3%	0.0	→
売上高	小規模企業	33.3%	11.1%	22.2	↗
	非小規模企業	20.0%	40.0%	▲ 20.0	↓
	全体	26.3%	26.3%	0.0	→
資金繰り	小規模企業	11.1%	22.2%	▲ 11.1	↓
	非小規模企業	10.0%	20.0%	▲ 10.0	↓
	全体	10.5%	21.1%	▲ 10.6	↓

(4) 小売業

■売上高

規模	増加	減少	D.I.値	
小規模企業	6.7%	53.3%	▲ 46.6	↓
非小規模企業	16.7%	58.3%	▲ 41.6	↓
全体	11.1%	55.6%	▲ 44.5	↓

■採算

規模	増加	減少	D.I.値	
小規模企業	6.7%	53.3%	▲ 46.6	↓
非小規模企業	16.7%	50.0%	▲ 33.3	↓
全体	11.1%	51.9%	▲ 40.8	↓

■次期の見通し

判断項目	規模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	6.7%	40.0%	▲ 33.3	↓
	非小規模企業	0.0%	58.3%	▲ 58.3	↓
	全体	3.7%	48.1%	▲ 44.4	↓
売上高	小規模企業	13.3%	40.0%	▲ 26.7	↓
	非小規模企業	0.0%	58.3%	▲ 58.3	↓
	全体	7.4%	48.1%	▲ 40.7	↓
資金繰り	小規模企業	0.0%	26.7%	▲ 26.7	↓
	非小規模企業	0.0%	16.7%	▲ 16.7	↓
	全体	0.0%	22.2%	▲ 22.2	↓

(5) サービス業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	20.0%	40.0%	▲ 20.0	↓
非小規模企業	40.0%	20.0%	20.0	↑
全体	32.0%	28.0%	4.0	↑

■採 算

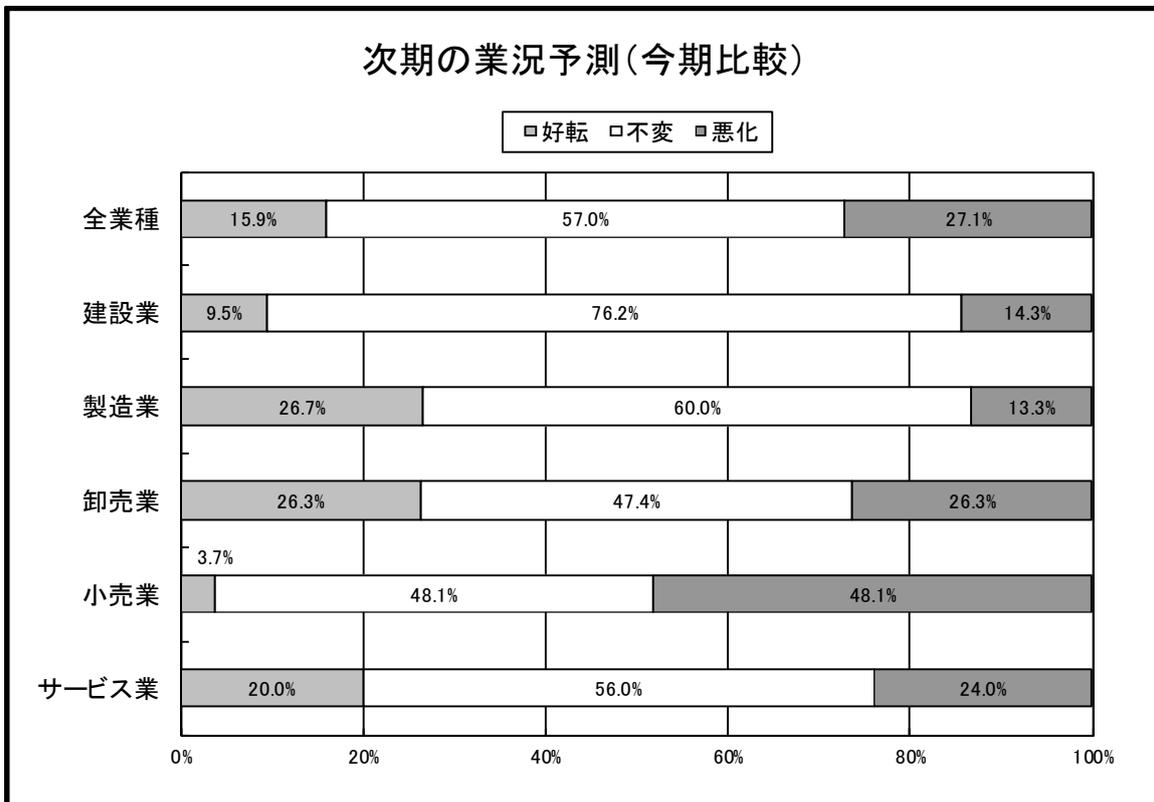
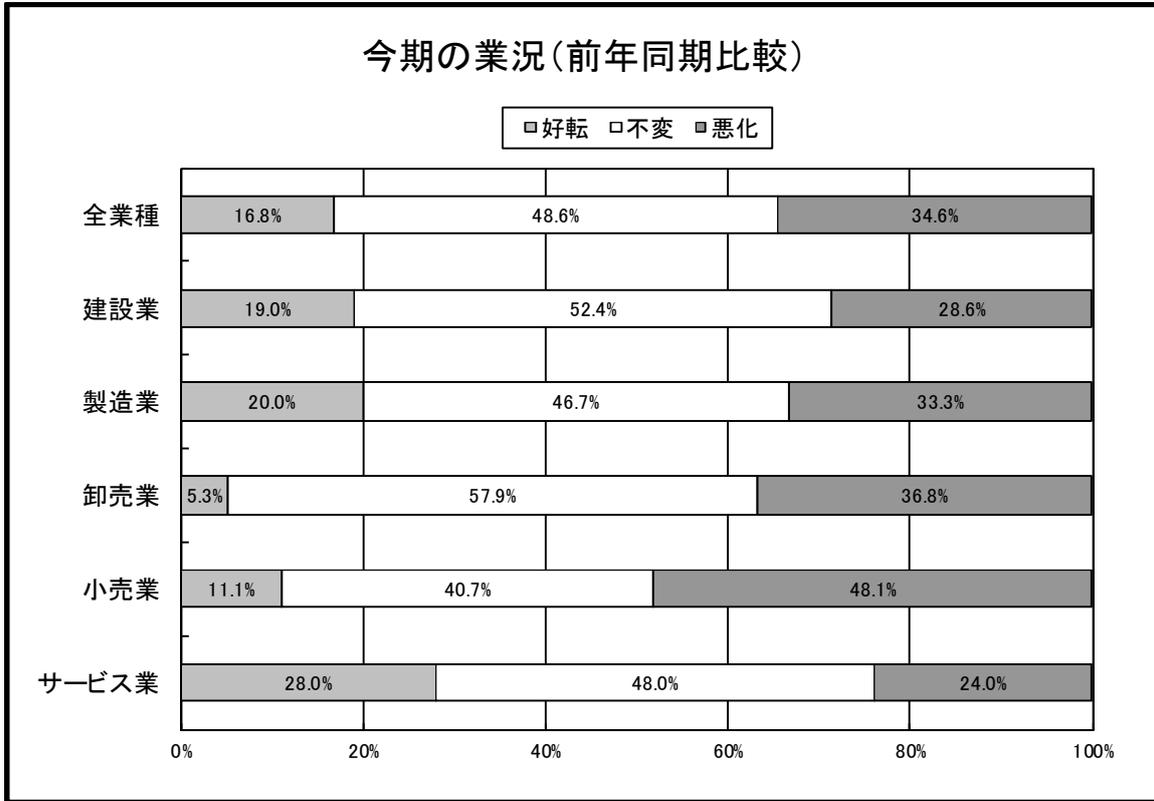
規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	10.0%	40.0%	▲ 30.0	↓
非小規模企業	20.0%	26.7%	▲ 6.7	↓
全体	16.0%	32.0%	▲ 16.0	↓

■次期の見通し

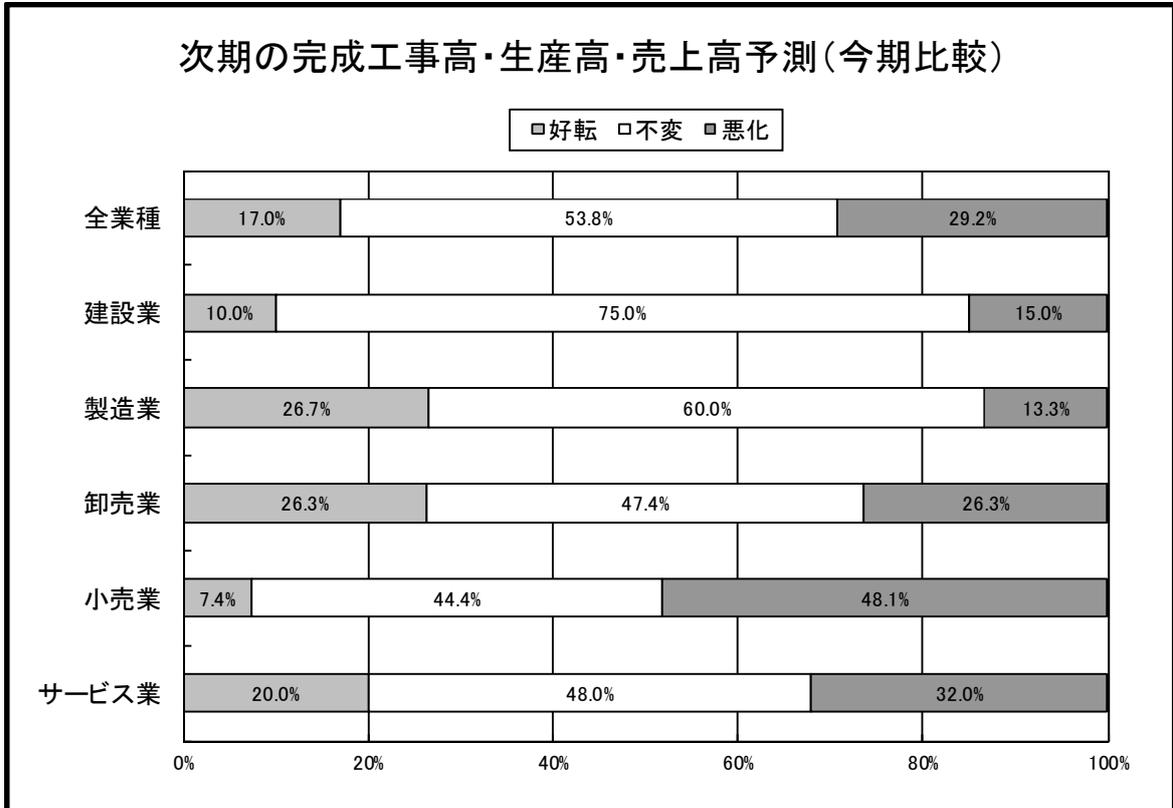
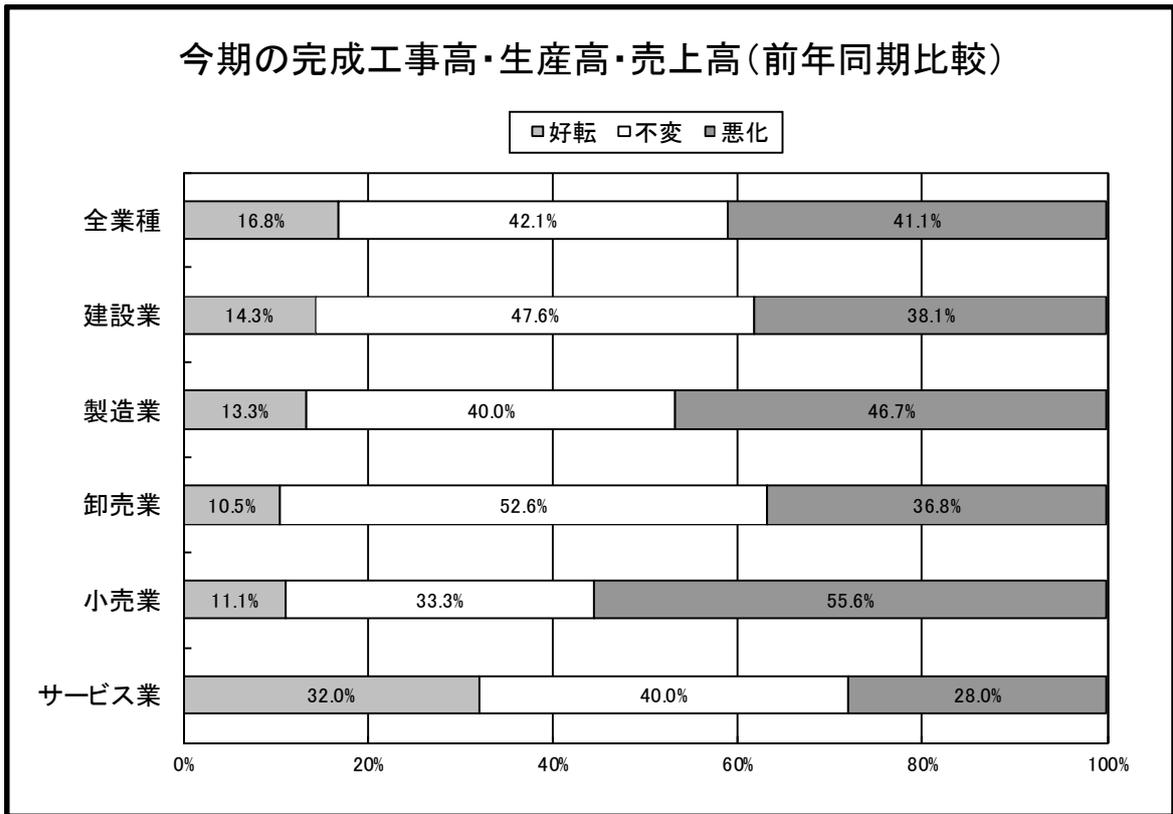
判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	10.0%	30.0%	▲ 20.0	↓
	非小規模企業	26.7%	20.0%	6.7	↑
	全体	20.0%	24.0%	▲ 4.0	↓
売上高	小規模企業	10.0%	30.0%	▲ 20.0	↓
	非小規模企業	26.7%	33.3%	▲ 6.6	↓
	全体	20.0%	32.0%	▲ 12.0	↓
資金繰り	小規模企業	11.1%	11.1%	0.0	→
	非小規模企業	20.0%	6.7%	13.3	↑
	全体	16.7%	8.3%	8.4	↑

第3章 各判断項目回答割合

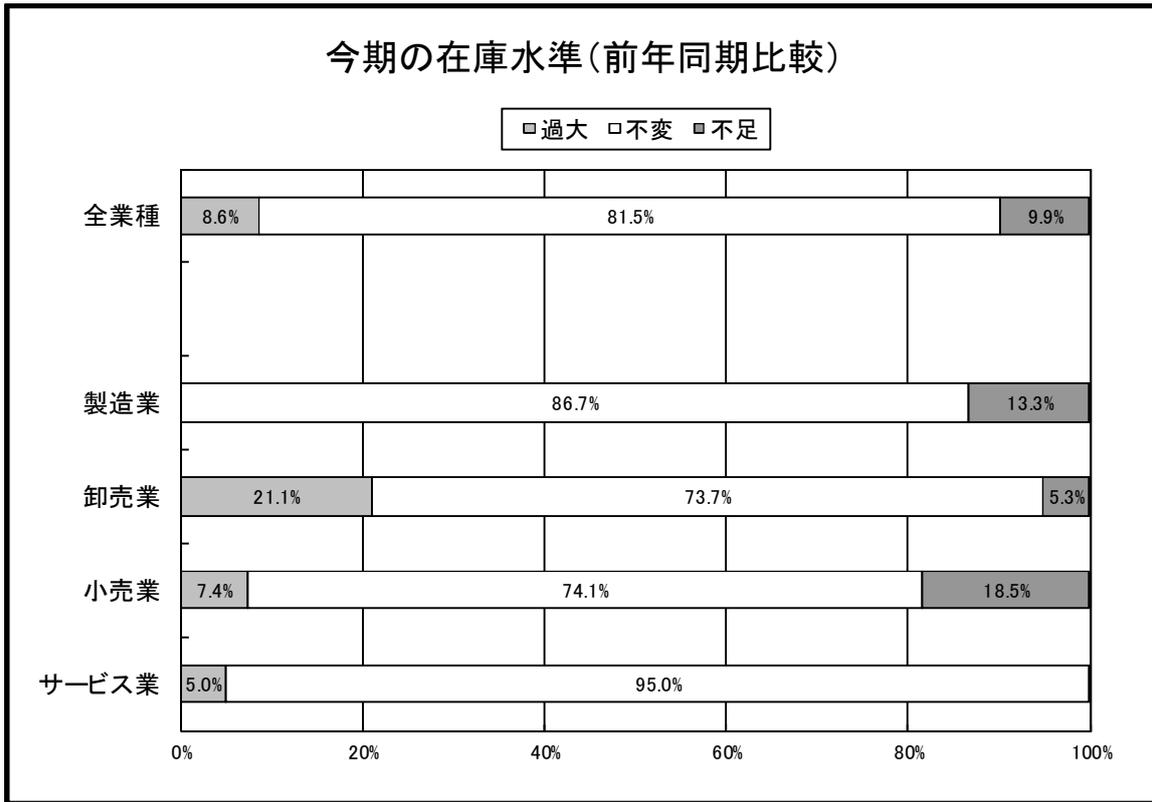
3-1. 業況



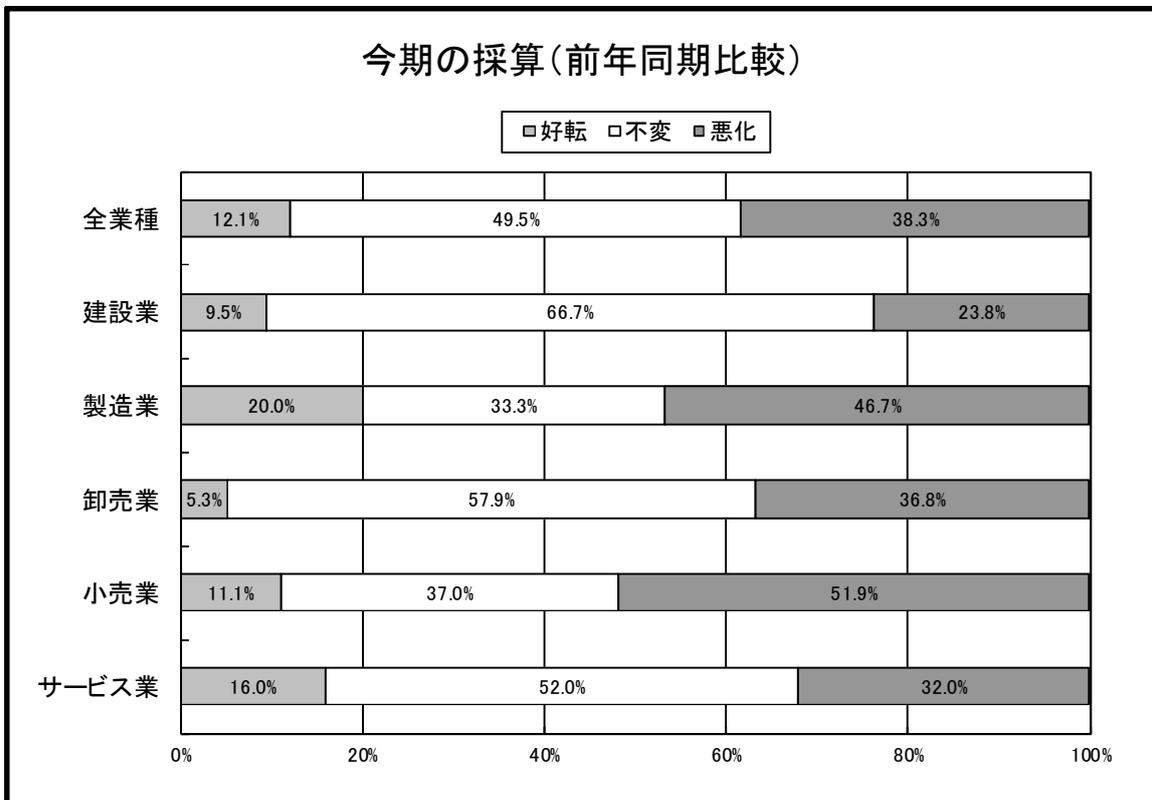
3-2. 完成工事高・生産高・売上高



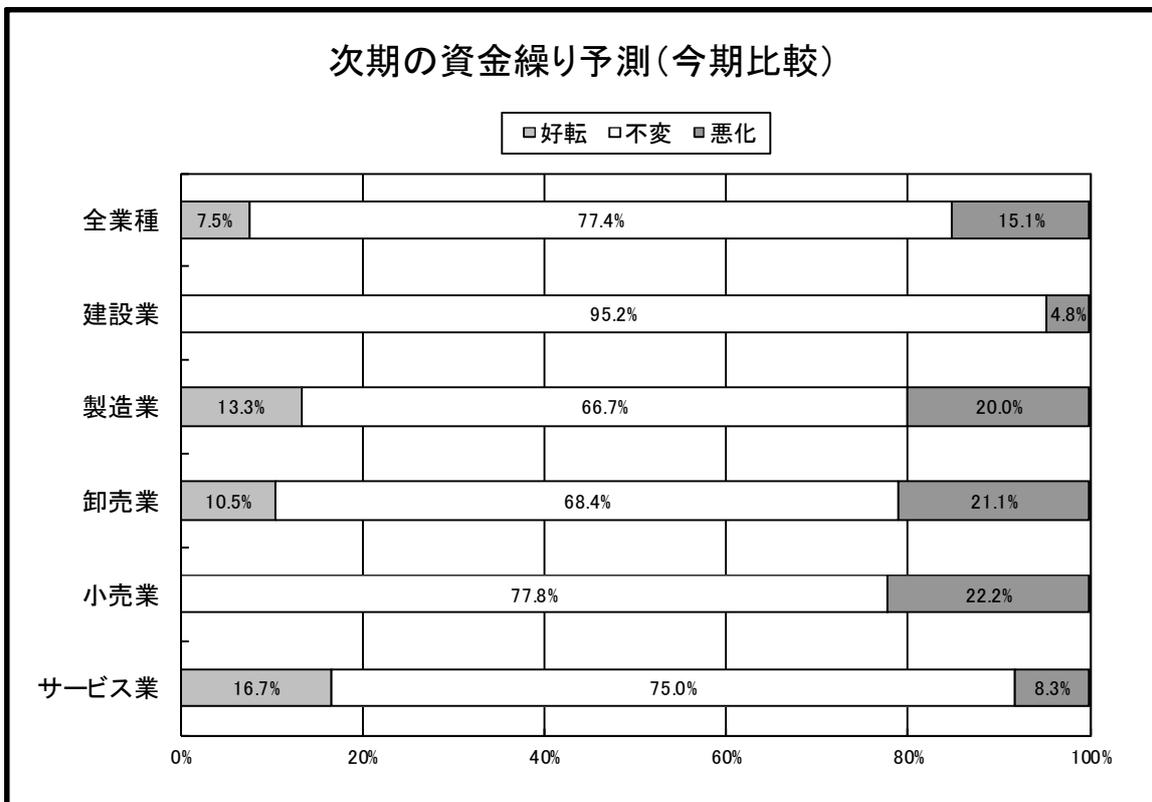
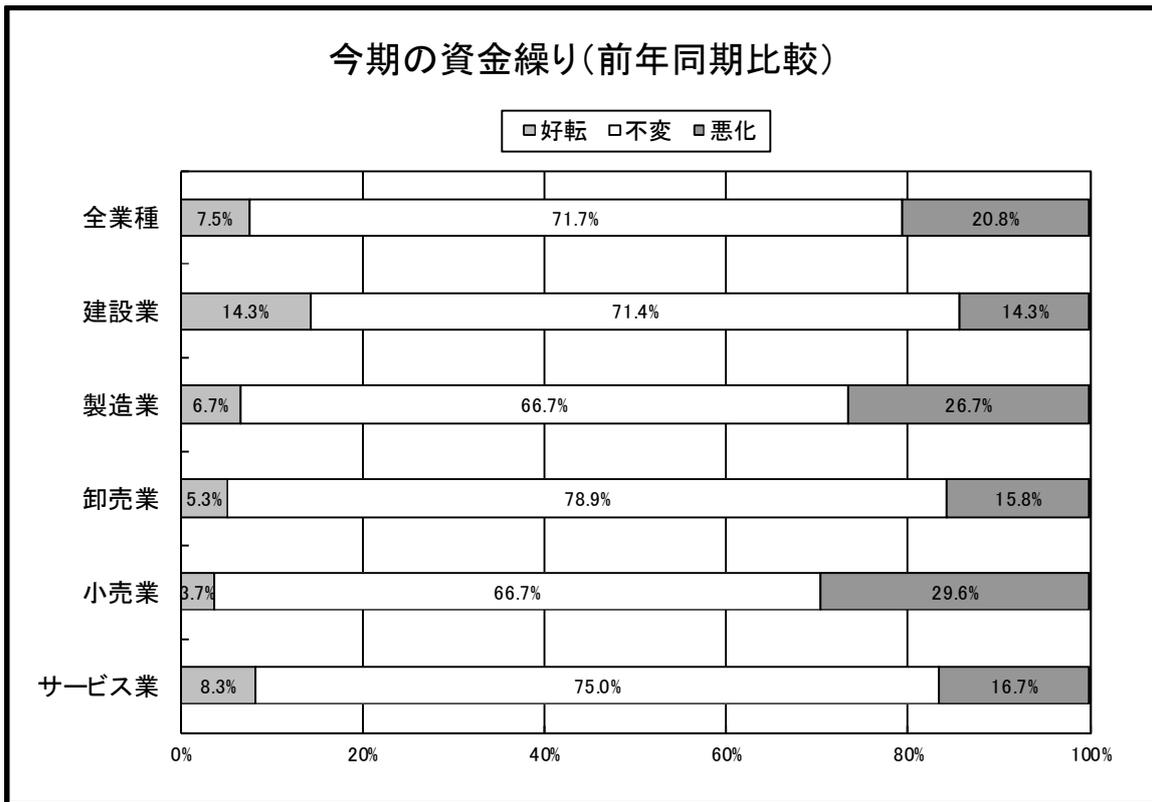
3-3. 在庫水準



3-4. 採算



3-5. 資金繰り



第4章 景況天気図

4-1. 記号説明

				
とくに好調 (D.I. ≥ 50)	好 調 (50 > D.I. ≥ 25)	まあまあ (25 > D.I. ≥ 0)	不 振 (0 > D.I. ≥ ▲25)	きわめて不振 (▲25 > D.I.)

4-2. 全業種 D.I. 値の状況

	前年同月比	3ヶ月見通し
業 況	 ▲ 17.8	 ▲ 11.2
売 上	 ▲ 24.3	 ▲ 12.2
採 算	 ▲ 26.2	
資金繰り	 ▲ 13.3	 ▲ 7.6

4-3. 業種別 D.I.値の状況

	判断項目	前年同期比	3ヶ月見通し
建設業	業況	 ▲ 9.6	 ▲ 4.8
	完成工事高	 ▲ 23.8	 ▲ 5.0
	採算	 ▲ 14.3	/
	資金繰り	 0.0	 ▲ 4.8
製造業	業況	 ▲ 13.3	 13.4
	生産高	 ▲ 33.4	 13.4
	採算	 ▲ 26.7	/
	資金繰り	 ▲ 20.0	 ▲ 6.7
卸売業	業況	 ▲ 31.5	 0.0
	売上	 ▲ 26.3	 0.0
	採算	 ▲ 31.5	/
	資金繰り	 ▲ 10.5	 ▲ 10.6

	判断項目	前年同期比	3ヶ月見通し
小売業	業況	 ▲ 37.0	 ▲ 44.4
	売上	 ▲ 44.5	 ▲ 40.7
	採算	 ▲ 40.8	
	資金繰り	 ▲ 25.9	 ▲ 22.2
サービス業	業況	 4.0	 ▲ 4.0
	売上	 4.0	 ▲ 12.0
	採算	 ▲ 16.0	
	資金繰り	 ▲ 8.4	 8.4

第5章 産業別経営上の問題点

業 種	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	人材不足	諸経費増	人件費増 売上の不振		同業者間の競合
製造業	諸経費増	人材不足	売上の不振	得意先減少	同業者間の競合
卸売業	得意先の減少	同業者間の競合	諸経費増 人材不足		売上の不振 人件費増
小売業	得意先減少	売上の不振	同業者間の競合	諸経費増 人材不足	
サービス業	諸経費増	人材不足	売上の不振 得意先の減少		同業者間の競合
合 計	諸経費増	人材不足 得意先減少		売上の不振	同業者間の競合

第6章 設備投資の動向

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。
設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
した	5件 (23.8)	5件 (33.3)	3件 (15.8)	4件 (14.8)	6件 (24.0)	23件 (21.5)
しない	16件 (76.2)	10件 (66.7)	16件 (84.2)	23件 (85.2)	19件 (76.0)	84件 (78.5)
無回答	-	-	-	-	-	件 (0.0)
合計	21件	15件	19件	27件	25件	107件

※上記表のカッコ内はパーセンテージを示す。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資 内容	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
土地	1件	-	-	-	-	1件
店舗	-	-	1件	1件	2件	4件
販売設備	-	-	2件	1件	2件	5件
車輛	3件	1件	1件	2件	4件	11件
付帯設備	1件	4件	1件	2件	2件	10件
OA機器	-	1件	1件	3件	1件	6件
福利厚生施設	-	-	-	-	1件	1件
その他	1件	-	-	1件	1件	3件

※複数回答があるため、表1の合計件数と相違している。

※その他の記述は以下のとおり。

建設業：測定器

小売業：車輛診断機

サービス業：建物の改修

第7章 業界の景気動向等その他のご意見

- ・平成25年度はアベノミックスで特別な年であり、平成26年度は通常に戻ったのではないかと予想しております。(建設業)
- ・今期間中、発注物件が少なかった。(建設業)
- ・ガソリン価格の高騰、消費税の増税(卸売業)
- ・3月の仮需要による売上の増加と4月～5月の反動減を考慮しています。ほぼプラス・マイナスでゼロです。(小売業)
- ・たくさんありすぎて手が付けられない状況。自助努力しかありません。(小売業)
- ・精肉販売店としては、過去最難関な問題と直面しているといっています。PEDにより豚肉相場の急高騰はとて当店で吸収できるものではありません。お客様への負担が高額となり申し訳なく思っております。また、年末には豚頭数が不足となります。約半年で食肉となる子豚が死んでいる為正規の大きさの豚は極めて高額になることは予想されています。もちろんこれらを使用するもの(ハム、ソーセージなどの加工品)も高額になる、もしくは製造すらできないかもしれません。現段階では、少しでもアイデアを出し、付加価値商品を販売していくしかないと考えています。(小売業)
- ・自動車の燃料の値上げが一番。事業運営をするための足です。段々とダメージが強くなってきました。(小売業)
- ・現金決済の会社が増え、資金繰りが大変です。(小売業)
- ・①消費税の増額に伴う分の増収を期待するもそんなに甘くない。やっとならばいい程度。
②昨春、返済計画の見直しを実行できたので多少、人件費増(最賃UP等)に対応できるか。
③光熱費の上昇は最大の課題。今年は省エネ作戦と勝負する。
④インバウンド2,000万人に期待するも、バス回しが足りないのか、航空機の発着のことがあるのか、道東への入込が足りない。
⑤消費税10%は当分様子を見てからにしてほしいですね。(サービス業)
- ・店舗数が増加したため、客足がばらけている。(サービス業)